

SSH

Super Science High school

文部科学省が指定する「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」は、先進的な科学技術、理数教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組です。全国で200校あまりが指定されており(渡島・檜山エリアでは本校のみ)、今年で本校は指定第1期6年目を迎えます。研究課題「科学的リテラシーを備え、地域及び世界をイノベイトする科学技術系人材の育成」のもと、普通科・理数科共に探究活動に取り組んでいます。

※今年度より年次進行でカリキュラムを変更します※

高1

(普通科)KANCHU探究Ⅰ (理数科)KANCHU理数探究Ⅰ

普通科・理数科問わず全員が取り組む。「探究活動」をする上で必要な研究手法(データサイエンス、統計手法、実験手法、論文の読み方や研究計画の立て方等)と研究発表方法を学び、そして実践する。

授業・ポスター発表会の様子⇒



高2

SS研究発展Ⅰ

普通科・理数科問わず全員が取り組む。4月から12月の期間、個人またはグループで課題を見つけ仮説を立て、研究計画を練り、自らの仮説を検証する実験・調査を行う。研究計画の報告会、中間報告会を経て、研究成果はSSH課題研究発表会で発表する。



高3

SS研究発展Ⅱ

普通科・理数科問わず、自分たちの研究成果を研究ポスターとしてまとめる。優秀な研究班は本校代表として、8月に兵庫県神戸市で開催されるSSH生徒研究発表会(全国大会)で発表する機会を得ることができる。

SSH生徒研究発表会の様子⇒



希望者

SS特講Ⅰ～Ⅲ

放課後・夏季休業・冬季休業等の時間に、大学の施設訪問や講演会・道外研修等、普段の授業よりも応用・発展的に科学を学ぶことができる。また、研究成果を英語で発表(ポスター・プレゼンテーション・論文執筆)することで、世界に通じる科学リテラシー・英語力を養う。



Science English Café やリケジョカフェ等を通じて、大学教員や留学生との交流を通じて、最先端の科学について学ぶことができ、SSH校や大学、学会などが主催する発表会で研究発表をすることができる。本校生徒の課題研究は大学教員等から高く評価されている。

「高い志をもち、次代を創造する主体者の育成」を目指す

現代の諸問題の解決を目指すには、文・理を問わず様々な分野からのアプローチが必要です。普通科では幅広い教養を身につけ、各領域の知識を結びつける柔軟な思考力を持つゼネラリストを育てます。文・理の科目をバランスよく学びながら、1年次のSS研究基礎、2年次のSS研究発展Ⅰを通じて自分の興味・関心や適性など自己理解を深め、3年次に文型と理型のコースに分かれ進路実現を目指します。また、「地域医療を支える人づくりプロジェクト（医進類型）」を活用し、医学部医学科受験にも対応していきます。

次世代のリーダーを育む 先進性に満ちた教育プログラム

令和4年度から理数科を新設し1クラス40名を募集しています。理数科では理科・数学等自然科学に興味関心が高く、その専門性を生涯にわたり追求しようとする意欲ある生徒を求めています。1年次から理科や数学に重点を置いたカリキュラムで学習しながらも、普通科と共通した社会教養としての科目も履修し、幅広い教養や視点を身につけます。また、SSH事業の一環である講演会や各種研究施設、JAXA訪問（予定）などに参加し、様々な経験の蓄積や探究活動により理数分野のスペシャリストを育てます。

募集 160 名

ゼネラリスト 普通科

求める生徒像

知識欲に富み幅広く学ぶことを好み、自己の求める課題を広い視野で解決しようとする意欲ある生徒

- 1年 柔軟な思考力と傾聴力、確かな基礎学力を育む
- 2年 探究活動を通して、判断力、表現力を育む
- 3年 自ら課題を見つけ、解決できる力を養い、グローバルに活躍できる実践力を育む

文型 理型

文・人文学、法・政治学、地理・歴史学、経済・経営学、社会・国際学、教育学、生活科学、芸術・スポーツ

スペシャリスト 理数科

募集 40 名
(推薦枠 50%程度)

求める生徒像

科学的な事象に興味を持ち、数学や理科の専門性を高め、自己の求める課題を広い視野で解決しようとする意欲ある生徒

- 1年 数学・理科を中心に学問を横断的・多角的に学び数理の基礎学力を育む
JAXA訪問!!
- 2年 自然科学・医理工学等の課題研究を通して判断力、表現力を育む
- 3年 研究した証を論文として執筆し、英語で研究発表しグローバルに活躍できる実践力を育む

医進類型

医・歯・薬・療法・看護・理・工・農・総合・環境・情報



医進類型指定校

北海道教育委員会指定事業「地域医療を支える人づくりプロジェクト」

医学部を目指す生徒をサポート

全学科の生徒を対象とします

✓ 医学部出前講義の実施（全学年対象） （写真①）

- 道内医科大学の現役教授を招いて大学の紹介や医学等に関する講義をしていただき、生徒の進路実現に向けた学習意欲の高揚を図ります。



✓ 地域医療体験事業の実施（全学年対象） （写真②③）

- 函館で活躍する医師の講演や医療機関の見学などを通じて、地域医療の現状について認識を深めます。



北海道大学 医学部 医学科 畠中 理茂 理数科（本通中学校出身）

函館中部高校に入学する前は医学部進学の実現というのは肩唾で、ぼんやりとした目標でしかありませんでした。しかし、中部高校の授業進度、授業内容、それ以外にも医進類型プロジェクトでのメディカル講座、医療体験は充実したものであり、医学部入学後の姿により具体性を加えてくれるものでした。

また、仲間の存在も受験期を乗り越えるためには重要ですが、中部高校には個性豊かな人が数多くいるので楽しみながら学校生活を送るだけでなく、ともに高め合うことができました。先生方は生徒が目標を持って努力していると必ず全力でサポートしてくれます。ただ、それに依存し過ぎず、最終的には自分でやりきること道は拓かれます。Boys, be ambitious!



君たちの未来へ全力支援！

函中だからできるきめ細やかな進路サポート体制

進路支援

全体指導 ハイレベルな授業、充実した進学講習・補習

授業

授業は65分1日5コマです。基礎基本の定着を大切に、大学入試に直結したハイレベルな授業が展開されます。



講習・補習

講習は1コマ70分です。習熟度や志望進路に応じて、きめ細かく対応しています。この講習で、基礎学力の向上や難関大学合格に向けて力をつけていきます。



個別指導 生徒1人1人に向き合った個別対応

進路面談

生徒の意思を尊重し、1人1人の声に耳を傾け進路実現に向けて全力支援します。保護者を交えた三者面談を通して、家庭との連携も密に進めます。



教育改革への対応

拡大する学校推薦型選抜や総合型選抜等、特色ある入試への対応は、教育活動のあらゆる場面で身につけていくだけでなく、教師が生徒一人一人の進路活動をしっかりとサポートします。「人材」の育成を目指す中部高校で「自分の強み」を見つけます。